

## 6 低開発地域における農家人口の動向分析

### 人口資質部資質科

- 1 人口資質の理論と分析方法に関する研究
- 2 人口資質からみたしっぺいおよび死亡に関する研究
  - (1) しっぺいと死亡との関連に関する分析
  - (2) 慢性しっぺいに関する基礎的分析
  - (3) 死亡構造の地域的特性
- 3 人口資質からみた労働力人口の損耗に関する研究
- 4 人口資質の集団遺伝に関する研究
- 5 人口資質に関する既存資料の比較研究

### 人口資質部能力科

- 1 人間能力の理論と分析方法に関する研究
- 2 社会環境と人間能力との関連に関する研究
  - (1) 出生力の分析
  - (2) 体位および体力の分析
- 3 労働能力に関する研究
- 4 人間能力損傷度に関する研究

### 資料課

- 1 人口統計の解析に関する研究
  - (1) 人口静態統計に関する指標の作成と分析
  - (2) 人口動態統計に関する指標の作成と分析
  - (3) 人口再生産力に関する指標の作成と分析
- 2 簡速静止人口表の作成とその諸方法の評価と分析
- 3 第5次出産力調査の実施と結果の分析
- 4 人口統計資料の評価、補正および利用に関する研究
- 5 特殊資料にもとづく人口に関する推計法の研究
- 6 資料の編成
  - (1) 人口統計資料の編成
  - (2) 人口図および人口地図の作成
  - (3) 人口に関する文献の編成
- 7 所の発行する資料の編集および配布
- 8 図書・資料の収集および管理
- 9 定例研究報告会の開催
- 10 資料の照会に対する相談

## 第5次出産力調査（昭和42年度実地調査）の施行

人口問題研究所では、昭和42年度の実地調査として「第5次出産力調査」を実施した。出産力調査は昭和15年に第1次調査を行なってから、戦後は昭和27年、32年および37年の3回にわたって実施したが、昭和27年以降は5年目ごとに施行することになっており、本年はその第5回目の調査を行なう年に当たり、昭和42年7月1日現在で実施した。その要綱を掲げれば以下のごとくである。

## 第 5 次 出 産 力 調 査 要 綱

### I 調査目的

戦後わが国出生率が急激な低下運動をようやく停止したのち、数年来再び僅かながら反騰のきざしをみせ、今後のわが国人口の動向を左右する重要な転機を暗示せしめつつある時期に当って、わが国最近の出産力の動向を社会階層別に明らかにし、かつ、5年前に実施された第4次出産力調査結果と比較対照することによって、その間の出産傾向を分析し、諸般の人口対策の基礎資料をうることを目的とする。

### II 調査方法

配票自計主義により、調査票甲については調査員による点検と補完記入をも行ない、調査票乙については密封提出させるものとする。

### III 調査対象および地域

調査対象は妻の年齢50歳未満の全国夫婦から1,000分の1.1の標本17,600組の夫婦を抽出して調査対象とする。

調査地域は、

#### 1 農業世帯を主とする地域

##### イ) 平地農村

	調査区数
(1) 秋田県平鹿郡雄物川町	25
(2) 香川県観音寺市・三豊郡高瀬町・山本町・大野原町	25

##### ロ) 近郊農村

(3) 神奈川県横浜市港北区	25
(4) 兵庫県神戸市垂水区	25

#### 2 林業世帯を主とする地域

(5) 長野県上水内郡信州新町・信濃町・牟礼村・三水村・戸隠村・鬼無里村・小川村・中条村	25
(6) 広島県比婆郡西城町・東城町・口和町	25

#### 3 漁業世帯を主とする地域

(7) 岩手県上閉伊郡大槌町	25
(8) 富山県氷見市・魚津市・新湊市	25

#### 4 鉱業世帯を主とする地域

(9) 北海道美唄市	25
(10) 福岡県鞍手郡宮田町	25

#### 5 工業世帯を主とする地域

(11) 新潟県燕市	25
(12) 愛知県尾西市	25

#### 6 商業世帯を主とする地域

##### イ) 小都市

(13) 岐阜県高山市	25
(14) 岡山県津山市	25

##### ロ) 中都市

(15) 青森県弘前市	25
(16) 佐賀県佐賀市	25

#### 7 勤め人・労務者世帯を主とする地域

##### イ) 大都市

(17) 宮城県仙台市	25
(18) 熊本県熊本市	25

ロ) 巨大都市

(10) 東京都区部より1区

29

(20) 大阪市此花区

25

計

504

IV 調査期日

昭和42年7月1日現在

V 調査事項

1 調査票甲によるもの

(1) 夫妻に関する事項

出生年月, 出生地, 結婚年月, 学歴

(2) 出産歴に関する事項

出生順位, 性別, 出生年月, 現在生死の別, 死亡児の死亡年齢

(3) 夫妻の母親の出生児に関する事項

男女別出生児数

(4) 夫の職業に関する事項

(5) 妻の職業に関する事項

2 調査票乙によるもの

(1) 夫妻の初再婚の別

(2) 妻の死産回数

(3) 夫の給料月額

## 定例研究報告会の開催

(昭和42年4月～6月)

昭和42年度

<回>	<年月日>	<報告題名>	<報告者>
1	昭42. 4. 5	昭和42年度調査研究項目打ち合わせ(つづき).....	各部科・課
2	昭42. 4. 12	昭和41年度調査研究実績概要報告.....	各部科・課
3	昭42. 4. 19	昭和41年度調査研究実績概要報告(つづき).....	各部科・課
4	昭42. 5. 10	都市人口分布の「成長的順位法則」 ——日本の都市人口分布に適用したる logistic 曲線——.....	三澤緋佐子技官
5	昭42. 5. 17	昭和43年度実地調査計画について.....	本多 龍雄 技官
6	昭42. 5. 24	昭和43年度実地調査計画について(つづき).....	各部
7	昭42. 5. 31	「第14回日本都市学会大会」(昭42.5.20・21)概況報告.....	岡崎 陽一 技官 内野 澄子 技官
8	昭42. 6. 14	人口移動と都市化——エカフェ 専門家会議出席報告——.....	黒田 俊夫 技官
9	昭42. 6. 21	タイ国の産業化.....	駒井 洋 技官